

対象 支部長・民生委員・児童委員

1、所属 () 支部 () 町会・町内会・自治会

2、普段からあなたのお住いの地域で高齢者や地域住民が集まって活動している団体や趣味の会のようなものはありますか？（ふれあい・いきいきサロンの活動以外）

ある ・ ない

3、「ある」をお答えいただいた方への質問です。

①それはどのようなところで行われていますか？

- a 自治会館・集会所 b 空き店舗 c 個人宅 d その他の公共施設（施設名： ）
e 公民館・分館 f 福祉関係の施設（施設名： ）
g 公園（ ） h その他（ ）

②そこではどのような活動がどれくらいの頻度で行われていますか？

- ・（ ）活動を（ 週 ・ 月 ）に（ ）回程度行っている
・（ ）活動を（ 週 ・ 月 ）に（ ）回程度行っている
・（ ）活動を（ 週 ・ 月 ）に（ ）回程度行っている

*例：（ 軽い体操 ）活動を（ 週 ）に（ 1 ）回程度行っている

4、お住いの地域では、どのような活動があったら良いと思いますか？（複数回答可）

- ①簡単な体操など、体を動かす活動
- ②気楽におしゃべり等ができる活動
- ③趣味等を学んだり、発表したりする活動
- ④みんなで、お茶を飲んだり、会食をする活動
- ⑤子供や若者など多世代と交流できるような活動
- ⑥地域のためのボランティア活動

⑦その他（ ）

5、普段から あなたのお住いの地域で健康や介護予防のために気を付けていることや、活動していることは何ですか？（複数回答可 特に重視している活動には2重◎を付けてください）

- ①見守り活動を行っている
- ②茶話会や会食を行っている
- ③趣味活動等のサークル活動を行っている
- ④健康維持や介護予防のための講演会や健康教室などを開催している
- ⑤隣近所が自然に助け合う活動（買い物やゴミ出しの支援等）をしている
- ⑥趣味等を学んだり、発表したりする活動に自治会館・集会所を貸し出すなどしている
- ⑦世代間交流ができるような活動やイベントを実施している
- ⑧特に行っていない

6、あなたの地域にお住いの高齢者に対してどんな不安や心配がありますか？

（複数回答可 特に重要だと思うことは2重◎を付けてください）

- ① 認知症や身体機能の低下により支援が必要な高齢者が増加している
- ② 支援の担い手がない
- ③ 交流のできる機会や場所が少ない
- ④ どんな支援を必要としているのかわからない
- ⑤ 何処にどんな人が住んでいるのか把握できない
- ⑥ その他（ ）

7、あなたのお住いの地域の高齢者は、日常生活でどんなことに困っていると思いますか？

（複数回答可。特に重要だと思うことには2重◎を付けてください）

- ① 掃除や整理整頓
- ②洗濯
- ③ゴミ出し
- ④食事の準備や片付け
- ⑤買い物
- ⑥外出
- ⑦金銭管理
- ⑧簡単な修理や修繕
- ⑨自宅での入浴
- ⑩家の周りの環境整備（草取り等）
- ⑪役所等の事務手続き
- ⑫体力や筋力の維持
- ⑬他の人との会話や交流
- ⑭1人暮らし等の方の見守りや安否確認
- ⑮特にない
- ⑯その他（ ）

8、高齢者の生活を支えるために、どのような支援活動なら地域住民の参加が可能だと思いますか？

(複数回答可 特に重要だと思うものは2重◎を付けてください)

- ①掃除や整理整頓 ②洗濯 ③ゴミ出し ④食事の準備や片付け ⑤買い物 ⑥外出 ⑦金銭管理
⑧屋内の簡単な修理や修繕 ⑨自宅での入浴 ⑩家の周りの環境整備 ⑪事務手続き ⑫体力や筋力の維持
⑬他の人との会話や交流 ⑭1人暮らしの方の見守りや安否確認 ⑮特にない
⑯その他 ()

9、その他・ご意見やご要望があればご記入ください

()

ご協力ありがとうございました。

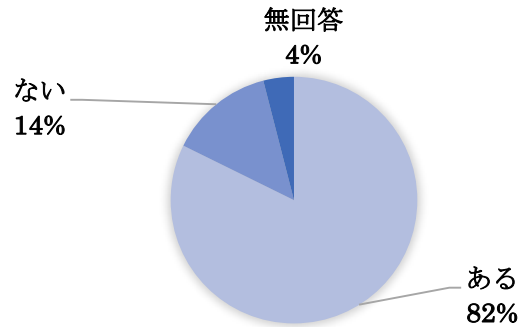
H28年 支部長 民生委員生活支援体制整備事業調査アンケート集計結果

支部長 55 支部のうち 55 支部回答 回答率 100% 民生委員 165 人のうち 147 人回答 合計 197 人 回答率 89.5%

2. 普段からあなたのお住いの地域で高齢者や地域住民が集まって活動している団体や趣味の会のようなものはありますか？（ふれあい・いきいきサロンの活動以外）

ある 162 人 ない 27 人 無回答 8 人

高齢者の活動している団体や趣味の会がありますか？

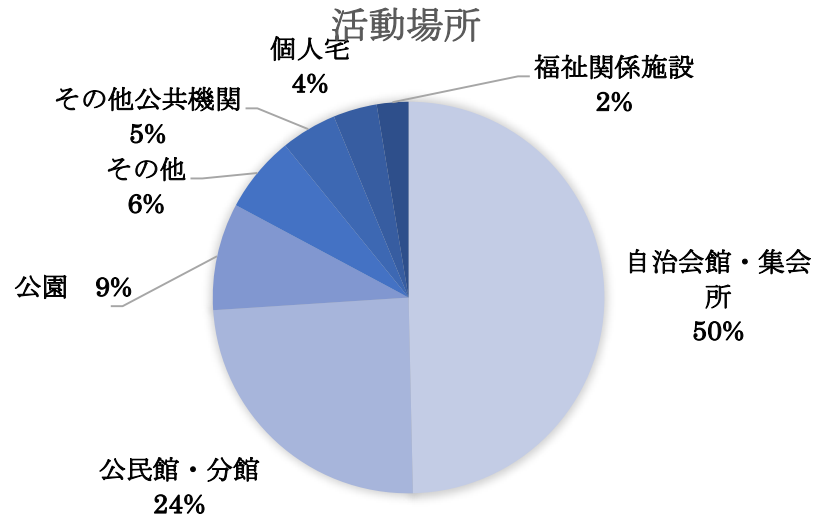


考察

社協支部主催のふれあいいきいきサロン以外で高齢者や地域住民の活動があるかを聞いたところ、82%の人があると答えていて、ほとんどの地域では、何らかの活動が行われていることが分かる。

3. 「ある」をお答えいただいた方への質問です。

①それはどのようなところで行われていますか？



考察

活動場所は、自治会館・集会所や公民館・分館が74%を占めており地域住民の比較的身近な地域で行われていることが分かる。

高齢者にとっては、身近な活動に参加できる場がある。

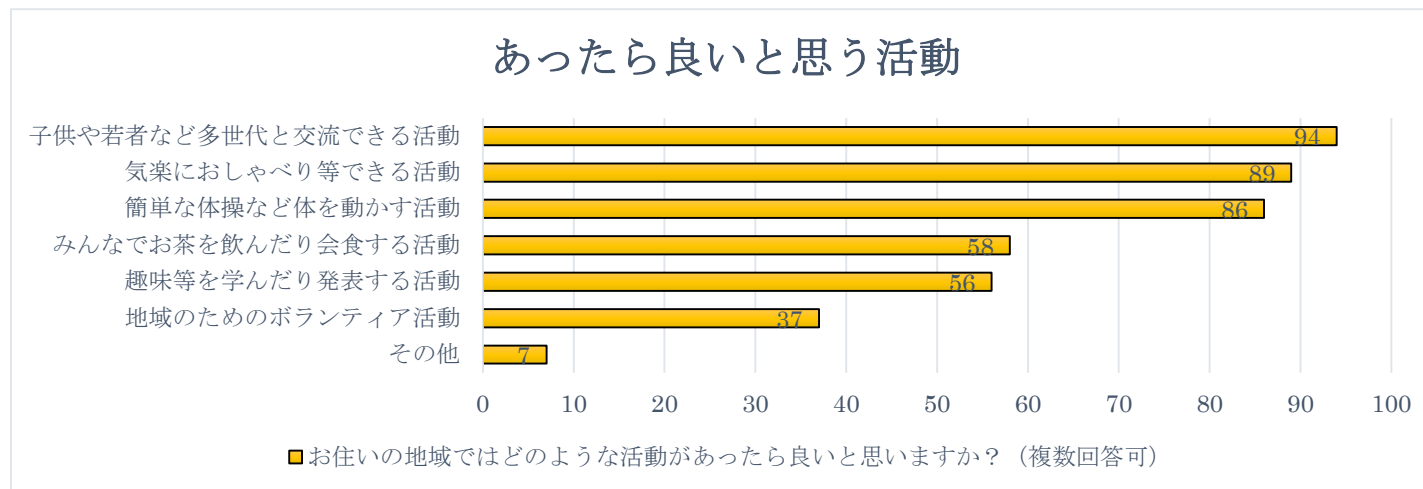
d：その他公共施設（施設名：学校・産業文化センター・鶴が丘コミュニティセンター・ゲートボール場・小学校体育館・小学校校庭）

f：福祉関係の施設（施設名：はなまる・大井総合福祉センター）

g：公園：クローバー公園・中央公園・西中央公園・よってこ公園・鶴ヶ岡中央公園・憩いの森

h：その他（地域の空き地・近くの駐車場）

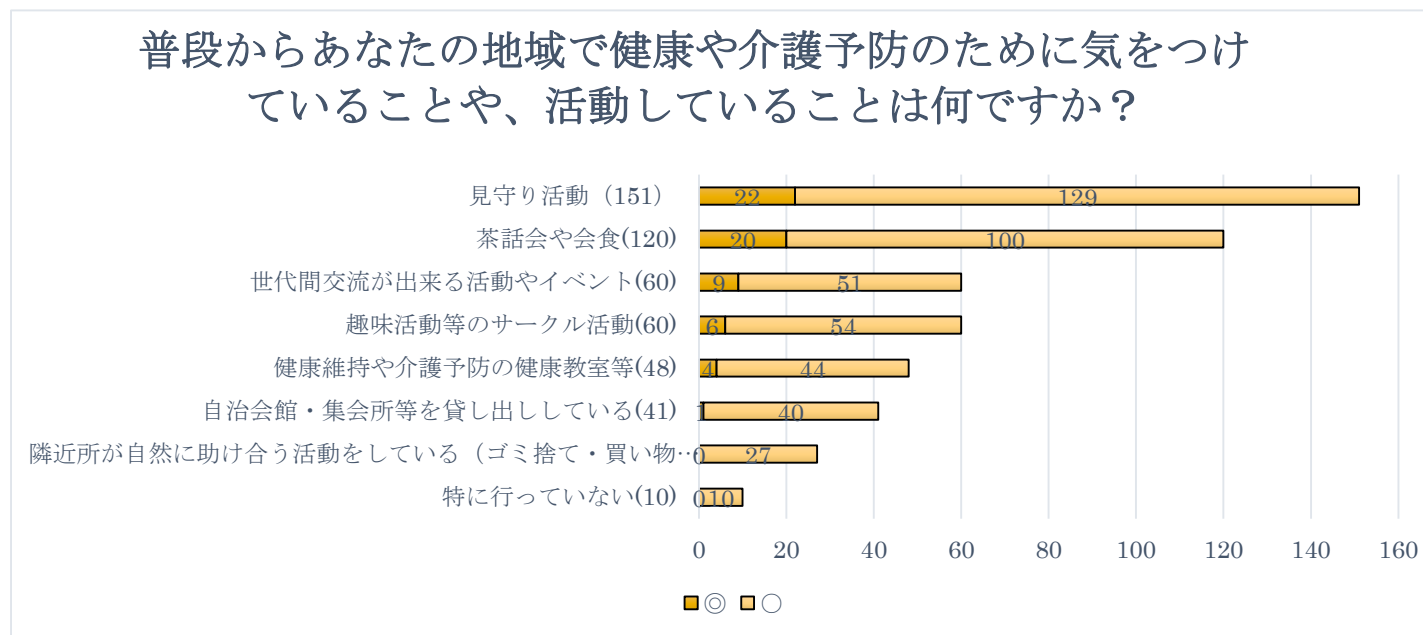
4. お住いの地域では、どのような活動があったら良いと思いますか？（複数回答可）



考察

地域にあったら良いと思う活動については、子供や若い世代と交流できる活動・気楽におしゃべりできる活動・簡単な体操など出来る活動の3つが多く、多世代や近隣の住民との交流の場や体操の出来る場が望まれている。

5. 普段から、あなたのお住いの地域で健康や介護予防のために気を付けていることや、活動していることは何ですか？（複数回答可 特に重視している活動には2重◎を付けてください）

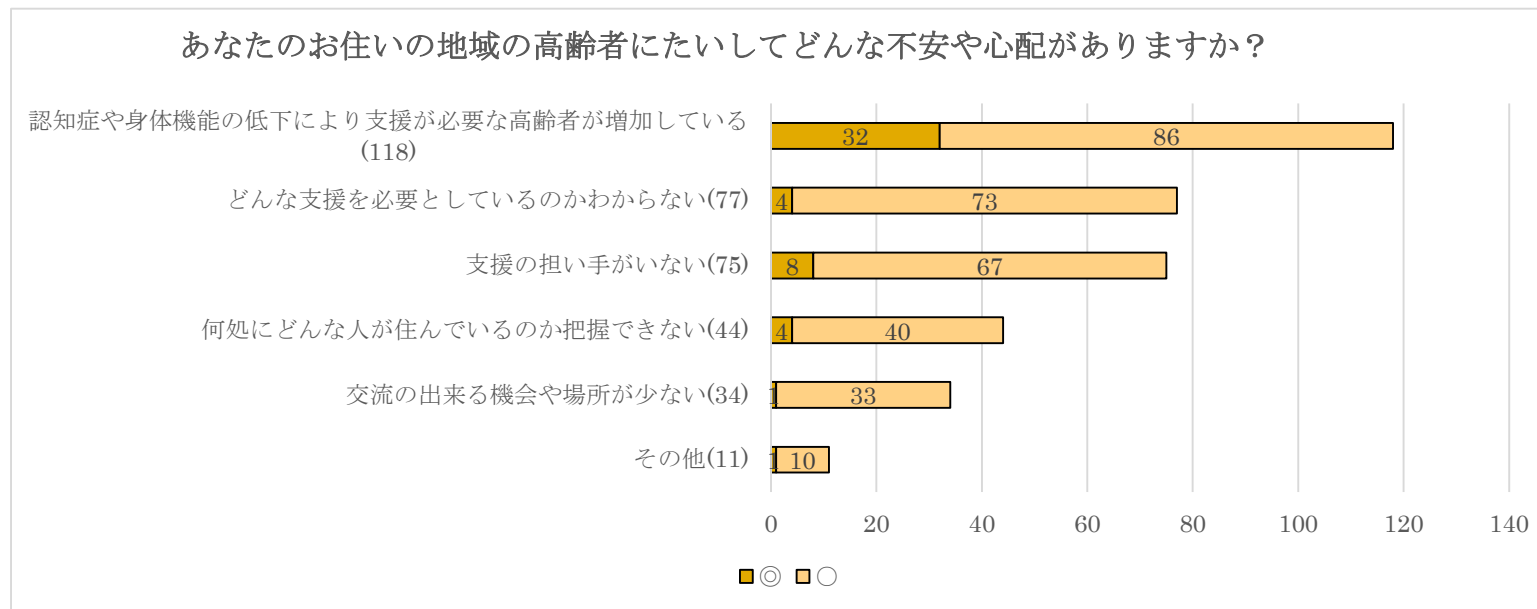


考察

健康や介護予防のための活動は、様々であるが地域で多く活動しているものは見守り活動や茶話会・会食であることがわかる。住民同士の助け合い活動や、健康維持や介護予防の教室は少ない。

4. の質問では、あったら良いと思う活動は、多世代と交流できる活動が最も多かった。今後、多世代間交流できる仕掛けを考え、活動につなげていく事が必要。

6. あなたの地域にお住いの高齢者に対してどんな不安や心配がありますか？（複数回答可 特に重視している活動には2重◎を付けてください）



考察

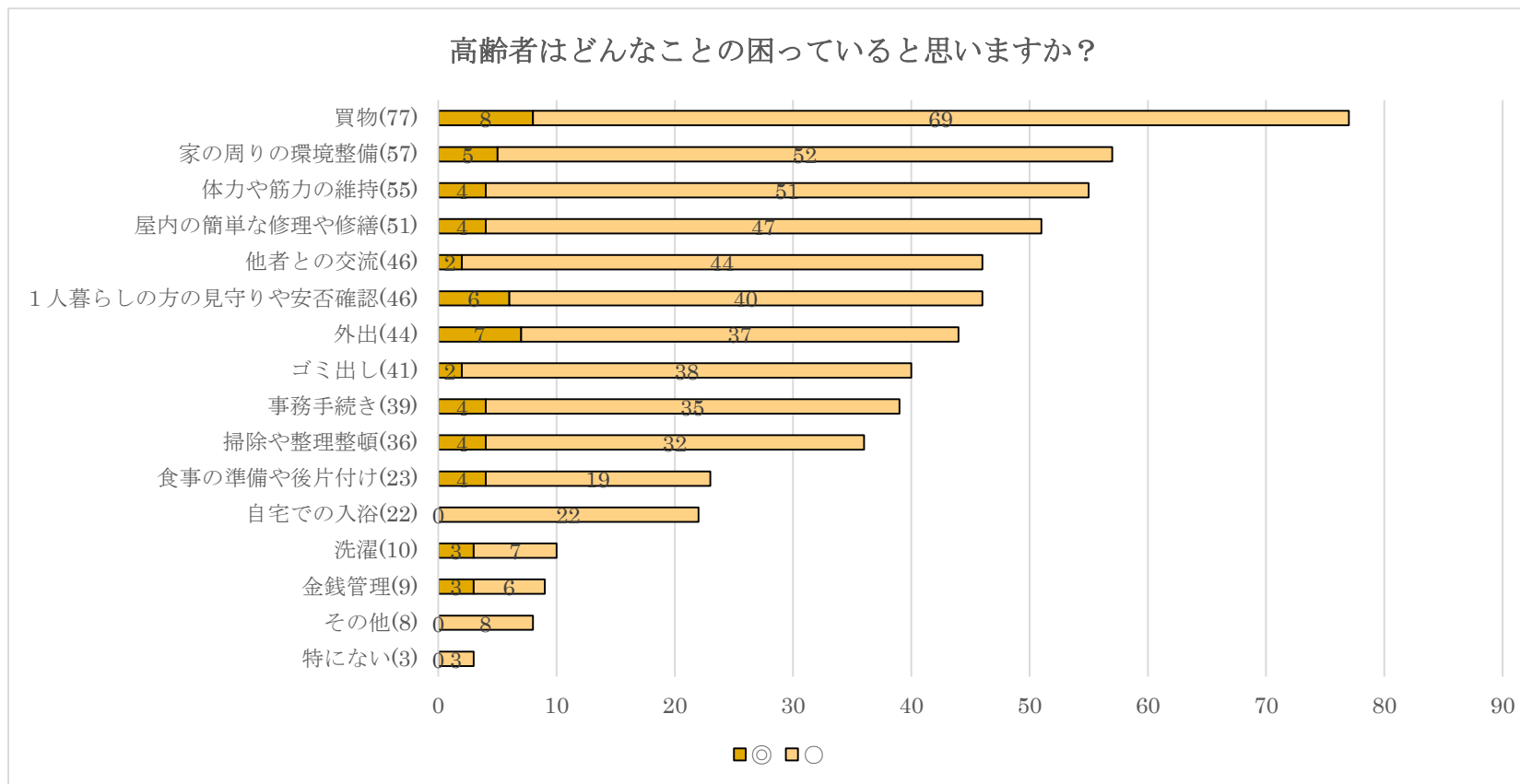
日頃より地域の高齢福祉に関わることの多い社協支部長・民生委員児童委員は、福祉活動する中で認知症や身体機能低下により支援が必要な高齢者が増加している事を強く感じている一方、どこでどんな人が住んでいるのか、どんな支援を必要としているのかわからず、また、支援の担い手不足も課題になっていることがわかる。

⑥その他

- ・ 交流の機会に参加しない高齢者に対する対応
- ・ 緊急時は管理事務室、各住居とインターフォンで情報交換。緊急性があると判断した場合、即対応できる仕組みを活かす。
- ・ 居住者と連絡が取れない。自治会からの脱退者が多くなっている。(約半数の世帯)
- ・ 自治会・町会脱会の理由…高齢化に伴う行事の参加、役員への拒否が理由 自治会の脱会者が高齢者で、町会・自治会も説得に心掛けていない。
- ・ 自治会からの脱退者が多くなる。
- ・ 独居老人が増加しているが、自治会に参加しない地域もあり、特にアパート、マンションなど見守りができない状況があるか。
- ・ 分館が町会内にない
- ・ 集合住宅の住民情報が把握できない。
- ・ 小さなアパートが多いので把握できない。
- ・ 今は皆元気です。高齢者が多いが家族と一緒に家庭がほとんどなので、皆助け合っています。
- ・ 特に居住者カードを提出して頂いていないアパート、マンション等の人達の情報が全く解りません！！
- ・ オートロックマンションの場合、自由に出入りできない。
- ・ 支援が必要な人ほど他人と交流しない。
- ・ マップを通して現状把握はできたが？

- ・生活調査を出されていない方がいる
- ・地域が広いので把握は困難
- ・近所つきあいはあるが、全体交流には参加しない。
- ・居住者カード不提出、又、要望の記入のない方は？ 町内会未入会
- ・夫婦で高齢な方の見守り
- ・町内会に加入していない人はあまり把握できない。
- ・③の2ヶ月に一度サロンはあるが5~6人の交流の場があるとよい 近所に何ヶ所か
- ・他人との交流を欲していない人がいる。
- ・日中独居、老老介護

7. あなたのお住いの地域の高齢者は、日常生活でどんなことに困っていると思いますか？（複数回答可 特に重要と思うことは◎を付けてください。

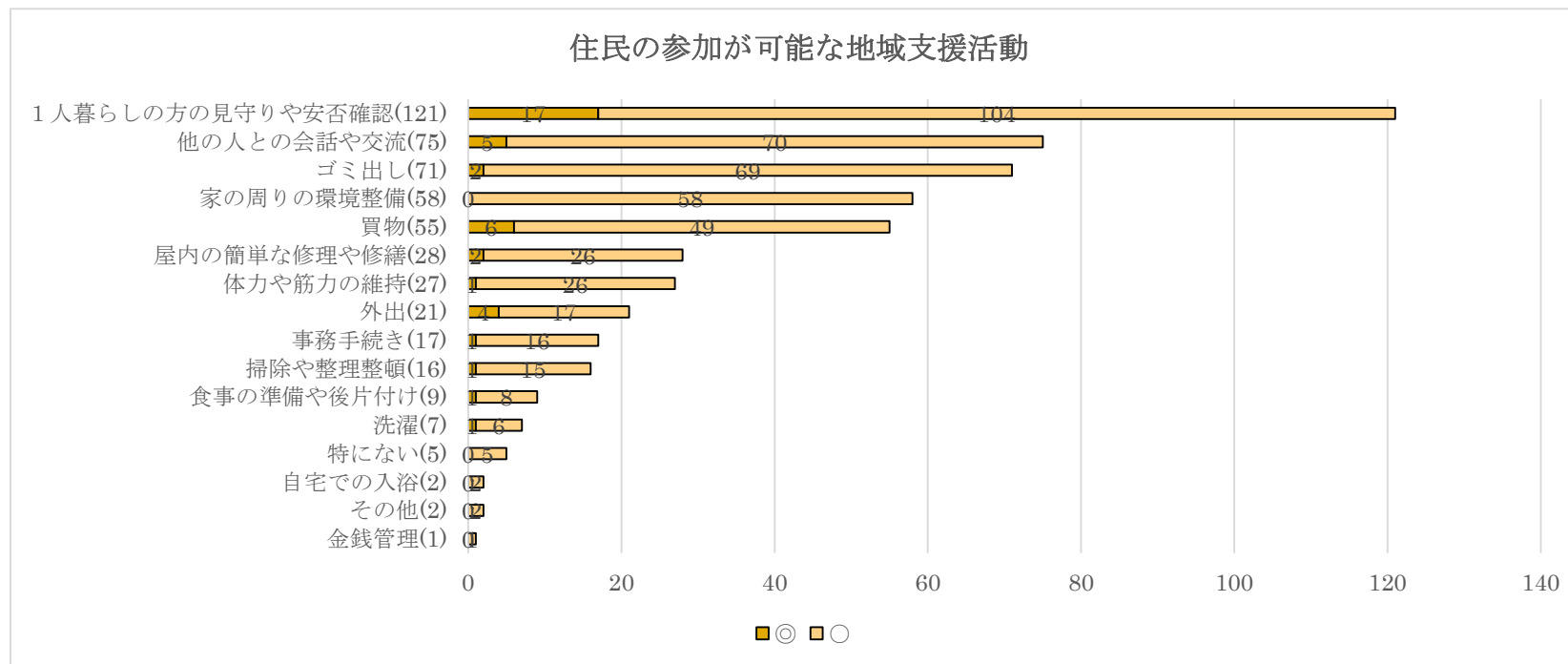


考察
 支援する側が感じている高齢者の困りごとは、買い物・家の周りの環境整備・体力や筋力の維持の回答が多くなっている。

⑩その他

- ・現時点では、上記項目のいずれにも当てはまる高齢者は判明していない。
- ・交流の場が少ないため分からない。
- ・支部では、なかなか個人の生活まで見届けることが出来ません。
- ・すでに専門機関にて支援を受けており、新たな案件については見守りの中で注視して参ります。
- ・すべて該当していますが、各施設・支援に協力頂いている。新たに発生した場合については各支援・見守りを施設・支援センターへ相談、各役所担当部署へ
- ・一人暮らしの高齢者の方で「トイレ」が壊れて、業者に修理をお願いしたところ、「ガイダンス」のやり方がわからず訪問して電話の取次ぎをした。
- ・マンションが多いので生活の様子がよくわからない。
- ・役所等の手続きが本庁まで遠い。支所ですべてが完了しない。
- ・把握できていない。
- ・包丁砥ぎの時、近所に声掛けし、砥いであげる。
- ・生活不活発病→転倒→認知症
- ・デイサービス等でカバーできていると思う。
- ・人それぞれでよくわかりません。
- ・雪がふったときの雪かき
- ・上の件については、地域というより行政の力をかりておることが多いようです。(係としてする分)には問題ないが、近所の方が手をかしてあげるということに難しさを感ずります。
- ・交通手段 通院
- ・その他の方は介護サービスに行っています。

8. 高齢者の生活を支えるためには、どのような支援活動なら地域の住民の参加が可能だと思いますか？（複数回答可 特に重要だと思うものは◎を付けてください）



考察
見守りや安否確認、他の人との会話や交流、ゴミ出し、家の周りの環境整備、買い物の順番で回答が多くなっており、問7の高齢者の困りごとと照らし合わせると住民が参加できる支援活動と違いが生じており、高齢者の困りごとを解決するために必要な社会資源の開発や担い手の育成が求められている

⑩その他

- ・現時点では、ボランティアの生活支援を必要としている高齢者は通所デイサービスに行くケースはあるが住民が自らボランティアとして支援している活動はない。
- ・普段の挨拶、隣近所の交流が大事だと思います。
- ・プライバシーを重視するのか、内向的な方が多い。
- ・自治会の再構築を提案しているが進展していない。
- ・(7.の困っていることについて) 困っている人が積極的に他人の世話にはなりたくない様子
- ・若い人が外に出て働いて、家にいる高齢者は孫の面倒をみたり、掃除、洗濯など家の手伝いをしています。皆さん80歳以上です。元気で頑張っています。
- ・介護保険の利用他
- ・認知症介護の方も地域に参加していただけるための介護学習を計画したい。
- ・町会主催のバス旅行など足が丈夫な方だったら参加できると思う。(一人暮らしの方は特に思っていらっしゃる)

9. その他・ご意見やご要望があればご記入ください。

- ・支部社協としての活動で、参加への声かけを、町会の回覧ルートのみである為か、参加人数が少ない。活動場所（分館の立地）にも問題があると思います。

- ・一人住まいの方の所となかなか交流を持つことがなく関わりが難しい。社協、町会で開催している行事にも参加されることがなく、自宅から出る回数が少ないので孤独になり体調をくずされ 外との交流が無くなるのが一番心配です。
- ・福祉ワゴン、タクシーの使い勝手が悪く困っているという声をよく聞きます。(炎天下にワゴンが 30 分ほど遅れてきたり、タクシーでとんでもない所で降りなければならなかったり)
- ・色々なイベントに行っても、そこへ出て来られない方をどうしたら良いのか。
- ・市のバスが無くなったので公共のバスを使用
- ・買い物に行くのに重いものは持てない。
- ・鶴ヶ舞は高齢者が多くなり、隣近所との関りが一番大事だと思います。何処まで関りが出来るかは、毎日の生活の上で、ゴミ出しの時の挨拶等で親しくして助け合っていくしかないと思います。高齢者にとって上記(アンケート内容のこと)は全部該当します。これからの課題だと思います。
- ・同居家族も高齢化しているのですが、なかなか外の手を借りたがらない。
- ・守秘義務があるということ、他人のプライバシーは守らなければいけないこと、このようなことに気遣っていると本当の姿がよくみえない。周りの人から様子を聞き出すこともとても難しい。高齢になると昨年はお元気だったのにどうなされたの? 車いすに乗って と半年~1 年で生活様式ガラッと変わる方がいらっしやる。ビックリします。勉強不足かな? どうしたらいいのでしょうか。
- ・子どもがいても独居老人になっている方が多い。またアパート等、一人暮らしで何らかの社会的支援を必要とする方が増加しているか、自治会活動からも漏れた世帯が多く、社協支部や民生委員の見守りだけではとても内情はつかめない。亡くなったということを知近所の方が知らせてくれるが、踏み込めないケースが多い。部屋や家に閉じこもっていて、外に出てこない世帯。訪問にも会えなかったり、反応があっても会うことはできない等。
- ・介護認定を受けず、自力で生活しているが、かなり生活していくうえで、体の機能が低下していて、不自由な方が多くなりました。ふれあいサービスの情報もお知らせしているが、年金生活者には、金銭的負担が大きく、利用できないでいます。今後、民生委員として、その方との関わり方がどこまで援助できるかが問題になってきます。
- ・数字の分析だけでは意味がない。公的機関が個人情報の法的関係から町会にまかせっきりで情報開示をしなすぎ。それでは何も進まない。
- ・機会を作ってだんだん顔見知りになっていく事が大事。すぐにはお互い心通わすのがむずかしいのではないか。
- ・高齢者ばかりの地域が増え、支援体制づくりがむずかしくなっている。どうしても外出の回数が減り、テレビとの会話が増える傾向になり、困った事で、解決策がなかなか、みつからない。
- ・担当する地域では新しいマンションや住宅が多く、これからの地域です。住居年数が若いので人との繋がりが薄いような気がします。町会に入られている家も少なく、民生委員がどのような事をしているのか、また、どのようなひとか、不信感があるような気がします。一人住まいの高齢者や、昼間一人で在宅されている方もお見受けしますが、遠目でお会いした時に挨拶程度にしています。もう少し民生委員として浸透できればと思います。コツコツと地域の方々に信頼されるように思います。
- ・昔から長いこと住んでいる顔なじみなので、色々なことがツーカーでつながっている。町会の夜回り行事には声かけするとよく集まってくれます。普段のあいさつ、声かけだと思います。それでも段々に高齢化と共にラジオ体操に出てこれない方が徐々に増えていくのが悲しいです。

- ・見守り活動は極めて重要であると認識しているが、民生委員、社協支部、いきいきクラブ等が特に横の連携を意識せず、個別に（バラバラに）行っているように感じる。上部組織での横の連携、有機的なつながりをもっと密にして活動の効率化を図ってもらいたい。
- ・認知の方は少なくないですが、特に男性ですが、外にでないでテレビばかりの人が多くいます。こうした方に働きかけ、外に出てもらうのが大切と考えます。
- ・高齢夫婦や独居老人になられた方が多くなっているように感じます。最近、地域の方から数日間、雨戸が閉めきりという連絡を受けました。包括センターに連絡したりして何とか情報を得ましたところ、お子様の家に行かれていたとのこと・・・まわりの方も心配されておりました。お留守にするなら近所の方に、一声かけてくださればよかったのに、と思いました。
- ・活動が計画されているものの、参加率は極めて低いように思います。参加される方はいつも同じ。多くの方が参加できるような何か・・・が見られません。
- ・私の所属する地区では世代交流が少なすぎる。
- ・支える人も支えられる人も年齢的には同じくらい。
- ・一般的な方は国や市の活動を上手に活用されているようだが、中に周りとの関わりを拒絶される方がおり、この様な方に対する対応ができない。現状は遠くから見守っているのだが・・・
- ・地域は高齢化し、地域で助け合うにも担い手が居ない。
- ・この回答は、7月21日に開かれた12名参加の福祉委員会で、話し合った内容を元に記入しました。「質問7」については、福祉委員の経験から、困っていると言われたことがあるとか、困っていると感じたことがあることだけを選びました。（全ての項目で困っている人はいると思われそうです。）「質問8」については、人とのつながりで、支援活動が違ふと思われそうですが、全く知らない人との関係から支援できる事を記入しています。
- ・⑧の設問については、他人のお宅の家の中に入ってお手伝いする事にはよほど知人でないと支援しづらいのではないかと思います。⑥について家族に認知症が居る場合、はずかしいから地域に知らず、家の人たちだけで苦勞するのでなく、地域の人達に救いを求めた方が楽に生活出来るのではないかと思います。
- ・支部のふれあいサロンでは趣味の会を実施して6年になります。世代間交流をして住民同士のつながりや交流につなげています。（約年間60回以上実施）男性の参加で地域に活性化を図り、見守りが充実し、情報交換の場として成果を上げていますが、個人情報等で困難もあります。
- ・ボランティアをする側の人が足りません。なるべく広く声かけをしていますが、なかなか定着していません。
- ・茶話会など実施しても同じ人がでてきて新しい人は出席しない。
- ・生活保護世帯等の担当部署と高齢福祉課との横の連携で分かる情報は我々民生委員に伝えて欲しい。私達はその人達の電話も、同居人がいる事も知らなかった。この方は居住者カードも提出していない。要するにトライアングルの関係の必要性を強く感じる事が何度かあった。又、ケースワーカーの保護世帯に対するサービスに公僕としての資質を問うと本人達も感じていた。
- ・自治会会長が交代したため、意思疎通がうまくできなく？ 集会所を借りるのが面倒である。
- ・居住者カードの提出がアパートやマンションなどでは少ないので、一人暮らしの人が、どのくらい居住しているか、どんな事に困っているのか、把握できないこと、また民生委員1人が担当している人数が多く、支援が十分できないなどの問題があり、日々苦慮している。
- ・支援を必要とする高齢者の為に、援助者の生活がふり回されるようになると長続きはしません。[実際にあった例：夜中、ベッドより落ちたので載せて欲しいとの呼び出しが多くあり、（救急車も出動、見守り者が留守の時）結局、施設への入所となった] 程々のところでの支援や報酬付きのものであれば、浸透していくの

は早いと思います。(例：足を痛めた高齢者の飼い犬の散歩を1時間千円で引き受ける地域の人もあります。)

- ・(高齢者) ご夫婦二人でお住いの家族、老々介護の世帯、息子(または娘)と親(片親)の家族は民生委員として見守りはしていませんが、最低でも年2~3回位の声かけ(訪問)が必要ではないでしょうか?
- ・掃除や洗濯、買い物等は1時間300円の市の「支え愛センター」にお願いしている方もいらっしゃいます。食事の方もお弁当にしている方も増えてきてます。地域に高齢者が多いため「見守りの方」も自然と比較的元気な高齢者となる。(こちらが見てもらいたい方だ)と言われる方もいらっしゃいます。
- ・一人暮らしの方で、こちらが何か支援しようと思っても、いっさい関わらないでほしいと拒否されている方がいます。福寿草も読まないのだから入れるな!!と言われていますが、それまでやめてしまうとつながりが全くなってしまいますので、何とか福寿草だけはポストに入れさせて下さいとお願いしてポスティングしている状態です。もし何かあったら心配ですが、息子さんから毎日電話があるので大丈夫だ! とのこと。少しずつ心を開いていただけるよう、道でお会いした時など声をかけていこうとは思っています。
- ・自治会に入っていない方が多くなっている。介護認定を受けた場合、民生委員に連絡してほしい。
- ・高齢者が多くても、出来るだけ自分で、他人に迷惑をかけないように自分で意識して、ほとんどの人がやっています。
- ・私達の地域では、老人会、サロン、自彊術(体操)習字の稽古、麻雀、女子部(手芸)等が集会所で行っています。大体、参加する人は決まってしまう、もっとも他の人達に楽しさを伝えていかなければと考えてます。ちょっと難しい問題ですが。
- ・介護が入っているかにより、(質問)7.8.はいろいろです。現実には、介護につながるのが地域にできることです。地域住民が(質問)7.8にあるような個人宅に入ることはできません。
- ・サロンに来る方は、健康状態等が分かるのですが、来ない方への対応をどのようにしていったらよいか問題だと思います。
- ・(上福岡)2丁目の民生委員さんは、活発に活動してくださっているので、ある程度の把握はできていると思います。
- ・どこの地域にもある事と思われそうですが、周りから見ても、支援が必要と思える方が数人いて、民生委員さんにも知られるのが嫌との事で隣近所とのコミュニケーションもないそうです。自分の地域の課題として、モデル支部さんを目標に取り組んでいこうと思います。
- ・夫婦二人暮らしや独居家庭、集会所の開放のための予算化があるとよい。
- ・課題として、参加者の固定化がある。新規参加者を積極的に進めたいが、会場のスペースに限界があり、工夫が必要となっている。
- ・今のところは無いです。
- ・本来、必要と思う閉じこもりの方がいるが、サロン等には出て来ない。
- ・町会が支部社協について理解していない。町会では月1回班長会議が実施されています。その際に募金、集金等の資料をお願いしています。そうした機会に支部の活動(サロンやイベント)をお知らせしていますが、関心がありません。町会活動と抱き合わせて支部活動もしましたが、一般参加者は喜んでくれましたが、町会が、一緒にした活動と認めなく、総会資料にも報告がありません。こうした町会とつき合いながら、昼間協力できない福祉委員ばかりで悩んでいます。現在は、少ない福祉委員さんでも何が出来るかを考え、月1回話し合っています。
- ・鶴ヶ岡2丁目町会は、比較的若い人が多い地域です